

「住民の絆と安全を深める取組み」

～さくらまち通信～

田川市桜町公民館 自治公民館長 宮崎 弘喜

1 事業名「さくらまち通信」

平成21年から発行し、毎月の行事やお知らせをカラーで見やすく全戸配布している。また、平成23年度からはインターネットによる無料メーリングサービスを利用し、住民にメール配信できるサービスを行っている。

2 事業の目的

最近はどここの地区でも稀薄になりつつある住民同士のつながりや絆を深めるため、また高齢者等の見守りもインターネットを通じて行い、住民が「住んで良かった」というまちづくりを目指している。

3 事業の実施主体

桜町公民館

4 連携・協力機関・団体等

桜町公民館 桜町役員（一般区民）

5 実施に至る経緯

私の住んでいる桜町は、住民855人でそのうち70歳以上が348人という状況である。高齢化が進む中、地域コミュニティの状況が変化してる。

昨今、人々の生活の場は地域社会から職場へ移り一昔前まであった地域活動がほとんど無くなり、地縁関係の稀薄化が問題になっている。それらの社会情勢・住民自体が今一度、中核となる必要性があると考えます。

こうした中、自治公民館の役割には、地域における環境問題や防災教育、生涯学習など子育てを中心とした家庭教育の支援拠点や地域コミュニティ形式の活動拠点としての機能などを求められている。

社会情勢や地域のそれぞれの特性や実情を踏まえながら地域の文化振興などを通じて夢と誇りを持ちながら住民の絆を深める『ふるさと街づくり』の実現を目指し現代に合った情報配信型の公民館となる為の基本的方向性を提案するものである。



6 事業の内容

さくらまち通信を月に1回発行し、全世帯に回覧板で見て頂いている。その中で、桜町の事をもっと知ってもらいたい！桜町に住んで良かった！と言ってもらえるように、桜町についての質問やアンケートを全世帯を対象に行っている。アンケートの結果をもとに、桜町地区での関心度や、要望なども知ることができる。

また、平成21年度からは、さくさくネットというインターネット機能を利用している。さくさくネットとは、無料で利用ができるメーリングサービスである。広告は一切ありません。

さくさくネットは、他人に見られることなく、仲の良い人やグループだけにメールを送るだけでなく、スケジュール管理、イベントの設定や出欠確認、写真の共有ができる多機能のメーリングリスト・非公開SNSサービスである。

こんなときに便利

- ・10人、20人に一斉メールを送りたい！
- ・サークルの練習日スケジュール管理したい！
- ・仲間同士でのイベントの出欠を管理したい！

利用例

- ・サークル、少年・社会人スポーツチーム、仲間同士、家族、保育園、幼稚園、塾、会社、介護、PTA、保護者会、スポーツクラブ、同窓会、などなど・・・

実際に送ってこられたメール



さくらまち通信



